

柏市感染症予防計画に 基づく取組状況について

柏市健康医療部
令和8年1月20日（火）

柏市感染症予防計画 数値目標一覧

区分	目標項目	平時	流行初期	流行初期以降
検査体制	検査の実施能力※1	—	255件/日	255件/日
	PCR検査機器確保数		2台	2台
人材の育成 ・ 資質の向上	保健所において感染症有事体制に構成される人員全員が受講できるよう実施した研修・訓練の回数	年1回以上	—	—
	主に感染症対策を行う部署に従事する市の職員を対象に実施した研修・訓練の回数	年1回以上		
保健所の 体制整備	流行開始から1か月間において想定される業務量に対応する人員の確保数※2	206人	—	—
	即応可能なIHEAT要員の確保数	7人		

※1 令和2～3年冬の新型コロナウイルス感染症対応時における最大検査件数を元に検査の必要量を想定。

※2 令和3～4年冬の新型コロナウイルス感染症対応時における保健所業務体制を元に人員の必要量を想定。

検査の実施能力，PCR検査機器の数

項目	流行初期	流行初期以降	令和7年度の取組（R7.12.1現在）
検査の実施能力	255件／日	255件／日	<ul style="list-style-type: none">・ 柏市健康危機対処計画に基づき，感染症危機発生時に検査業務に従事する人員を確保・ 県衛生研究所の精度管理事業に参加・ 国県等が実施する研修に積極的に参加・ 遺伝子PCR検査の全工程を検査業務に携わる職員全員が習得し，柔軟な人員配置による検査体制を確保
PCR検査機器確保数	2台	2台	<ul style="list-style-type: none">・ 柏市が保有する検査機器の数：2台・ 計画に基づき定期点検を実施

今後の取組

- ①検査実施体制の維持，千葉県並びに県衛生研究所との連携に努める。
- ②新型コロナウイルス感染症対応時の経験を基に，標準作業書の適宜更新，試薬等の在庫把握及び在庫量調整を継続的に実施する。

人材の育成，資質の向上

目標項目	平時	令和7年度の取組（R7.12.1現在）
保健所において感染症有事体制に構成される人員全員が受講できるよう実施した研修・訓練の回数	年1回以上	<p>【健康危機に関する研修】 1月実施予定 対象：全庁職員（オンライン研修） 内容：健康危機の基礎・柏市健康危機対処計画の概要について全庁職員の共通理解を図る。</p> <p>【健康危機管理対応訓練】 2月実施予定 対象：感染症調整本部に指名された職員及びIHEAT要員等 内容：・感染症対応業務，柏市健康危機対処計画，IHEATの概要についての講義 ・PPE着脱の実践型訓練</p>
主に感染症対策を行う部署に従事する市の職員を対象に実施した研修・訓練の回数	年1回以上	<p>【感染症対応人材育成】 随時実施 対象：感染症調整本部において感染症対策を担う職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健医療科学院，健康危機管理研究機構（JIHS）等が実施する研修参加 ・社会福祉施設クラスター発生時に，ICNを派遣する訪問指導に同行し，現場に即した指導助言の資質向上を図る。 <p>【その他】 随時実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急性呼吸器感染症に係る検査を自機関で開始。これに伴い，病原体の検査情報の収集，分析等の対応力向上，体制強化に努めた。

今後の取組 次年度以降も，柏市健康危機対処計画-感染症編-に基づき継続的に実施予定。

保健所の体制整備

目標項目	平時	令和7年度の取組（R7.12.1現在）
流行開始から1か月間において想定される業務量に対応する人員の確保数	206人	<ul style="list-style-type: none">・ 柏市健康危機対処計画に基づき健康医療部内に感染症調整本部を設置できる体制を構築・ 流行開始から1か月間においては、速やかに全庁応援を加えた206人体制に移行する仕組みを整備
即応可能なIHEAT要員の確保数	7人	即応可能なIHEAT要員：4名

今後の取組 健康危機対処計画-感染症編-に基づき順次実施予定

- ①年度ごとに感染症調整本部の人員配置リストを作成するとともに、全庁応援体制の継続を確認する。
- ②即応可能なIHEAT要員の確保に向けて、IHEAT.jpに登録するIHEAT要員14名（規約未同意者含む）を対象にした感染症対応に関する研修や訓練の実施、国や県が主催する研修を案内する等、研修参加の機会をつくる。